



～ 総務省からのお知らせ～

★ 第51回衆議院議員総選挙を振り返って

今回の衆議院議員総選挙では、大雪となった地域もある中で、各都道府県・市区町村の選管並びに選挙啓発団体の皆様方には、選挙の管理執行や周知啓発に万全を期していただきました。大変お疲れ様でした。今月号では、選挙を振り返った内容をお知らせします。

18歳、19歳の投票率の状況（速報値）

年齢	18	19	計
R8衆	51.45	34.64	43.11
R6衆	49.21	36.67	43.06

（単位：％）



（1）投票率

今回の衆議院議員総選挙の投票率は、**56.26%**で、前回の衆院選の53.85%から2.41%増加しました。18歳、19歳の投票率（※）についても、43.11%と前回比0.05%増にとどまっており、依然として若年層の投票率は低い傾向にあります。

※ 全国の投票区の中から、188投票区（47都道府県×4投票区）を抽出した結果（速報値）。

若年層の政治意識の向上を図り、長期的な観点から投票率の向上を図っていくには、主権者教育の息の長い取り組みが重要です。今後も皆様の取組を支援してまいりますので、引き続き積極的に推進いただくようお願いします。

（2）総務省の啓発

総務省の啓発としては「藤木直人」さんと「谷まりあ」さんの2名を選挙啓発のイメージキャラクターに起用し、動画広告、新聞広告、ポスター、リーフレット、インターネット広告、SNS活用のほか、総務省特設ホームページにおいて投票方法、候補者・政党情報等の情報提供等を行いました。

今後とも皆様の取組も参考にしつつ、投票率の向上に向けて、より効果的な選挙啓発に努めてまいりたいと考えています。

（3）速報資料の掲載

「令和8年2月8日執行 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 速報資料」は下記URLからご覧いただけます。

【総務省HP】 <https://www.soumu.go.jp/senkyo/51syusokuhou/index.html>

～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

「情報誌Voters No.90」を発行しました。

特集テーマは「2025年参院選はどういうものだったのか」です。昨年7月の第27回参院選は、与党が衆議院に引き続き、参議院でも過半数を割り込む結果となりました。一方で新しい政党が躍進したこと、若者の投票率の向上により平均投票率が前回より約6ポイント上昇したことなどを受け、識者の方より今回の参院選はどのような選挙であったか、有権者の投票行動の変容などについてご執筆いただきました。先の衆院選に通底する知見も読み取れるかと思えます。また、投票率の向上、とりわけ若者の投票率が顕著に増加した要因等について、都道府県・指定都市の明るい選挙推進協議会会長様から伺った「肌感覚のご意見」も掲載しています。

連載では、当協会の佐々木毅会長によるコラム「迫りくる新課題」、明推協リーコラムは北九州市明るい選挙推進協議会の中村英樹会長、主権者教育アドバイザーコラムは宮崎大学教育学部教授の吉村功太郎先生にそれぞれ寄稿いただいています。

協会ホームページにPDF版およびバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会 Tel: 03-6380-9891

主権者教育だよりの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限り、お応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 北村・山口 Tel : 03-5253-5574 Mail : senkyo.kanri@soumu.go.jp